

公開制作 vol.3

# 制作, デジタル, 道

2023年10月14日(土)

制作

2023年10月14日(土) — 2024年1月9日(火)

2024年2月4日(日)

展示

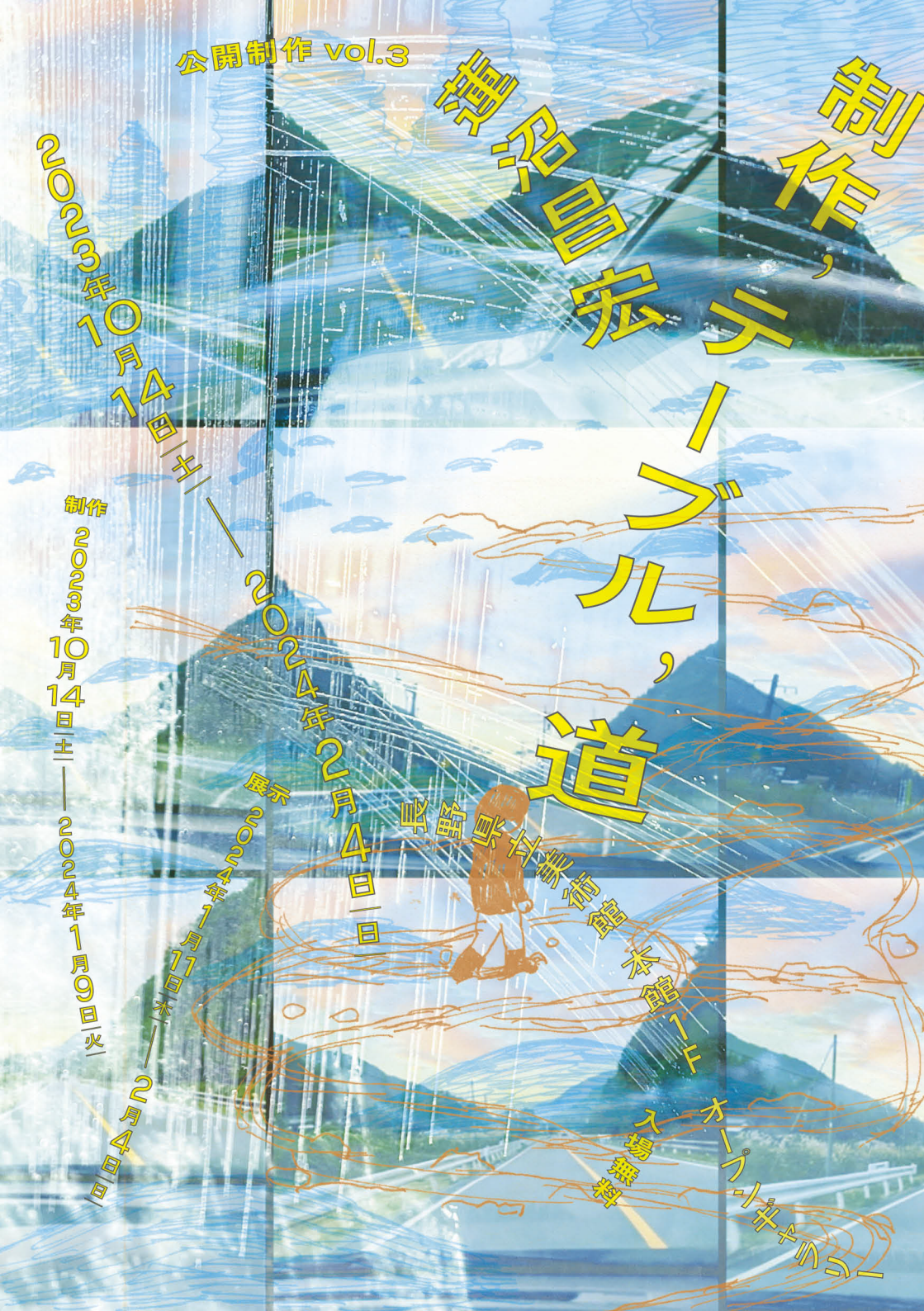
2024年1月17日(木) — 2月4日(日)

岐阜県美術館

本館1F

入場無料

オープンカフェ



公開制作は、アーティストが一定期間美術館に滞在して作品を制作し、その制作過程や完成した作品をご覧くださいプログラムです。vol.3となる今年度は、自身の経験や発見から物語をつむぎ、絵画や写真、手回しの動画装置キノラによるアニメーションを手掛ける蓮沼昌宏を招へいます。

アーティストは展覧会への参加が決まると、あるテーマに沿って作品を制作することがよくあります。これは蓮沼にとって例外ではなく、様々な展覧会やプロジェクトに参加するなかで数多くの作品を発表してきました。

そこで、今回の公開制作は「制作そのもの」に向き合う期間とし、前半のおおよそ3カ月間はあえてテーマを設けずにひたすら手を動かすことにしました。こうして生まれた作品で展覧会を構成し、後半の展示期間を迎えます。通常とは逆順をたどった展覧会では、どんな景色が見えてくるのでしょうか。

ゴールを目指さない制作の行為は作ることの原点ともいえるかもしれません。ぜひ繰り返し足を運び、アーティストの滞在ごとに変化していく会場の様子もお楽しみください。



《ソラーパネル象》2022年 木製屋根・紙粘土・ミラー・電球



《てしま》2016年 378ページ photo: SHIGI Shizune

《歩く 歩く 歩く 歩く 転ぶ 歩く》2018年  
板・アクリル絵具 91×42×4cm



#### 【イベント】アーティストトーク

11月19日【日】 畠山直哉(写真家、東京藝術大学大学院映像研究科教授)×蓮沼昌宏

12月23日【土】 林立騎(翻訳者、演劇研究者、那覇文化芸術劇場なはーと企画制作グループ長)×蓮沼昌宏

時間 | 14:30-16:00(開場14:00) 会場 | 長野県立美術館 本館1F 交流スペース

定員 | 30名 要申込(10月22日より当館HPイベントページにて受付開始・先着順)

\*詳細は当館HPにてご確認ください

#### 蓮沼昌宏(はすぬま・まさひろ) / アーティスト、写真家

1981年東京都生まれ。2010年東京藝術大学大学院美術研究科博士課程修了(美術解剖学)。2016-17年文化庁新進芸術家海外研修員(ドイツ・フランクフルト)。近年の活動に、2023年「BankART Under35 / Over35 2023」(BankART KAIKO、神奈川)、2022年「こわくて、たのしいスイスの絵本」(アサヒビール大山崎山荘美術館、京都)、2021年「特別的にできない、ファンタジー」(神戸アートビレッジセンター、兵庫)、「奥能登国際芸術祭2020+」(木ノ浦ビレッジ、石川)、2020年「物語の、準備に、備える。」(富山県美術館、富山)などがある。2022年に自作集『床が傾いていて、ボールがそこをひとりでもころころ転がって、階段に落ちて跳ねて、窓の隙間から外へポーンと飛び出してしまう。蓮沼昌宏』を刊行。現在、長野県を拠点に活動中。www.hasunuma-masahi.com



長野県立美術館 長野市箱清水1-4-4  
TEL. 050-5542-8600(ハローダイヤル)  
9:00-17:00 休館日 | 水曜日、12/27-1/3



【アクセス】長野県立美術館には一般来館者のための駐車場はございません。美術館周辺の駐車場は混雑が予想されます。公共交通機関のご利用をお願いします。

【公共交通機関】JR長野駅善光寺口バス乗り場①から、アルピコ交通バス11・16・17で「善光寺北」下車。バス進行方向に徒歩3分。

#### 【注意事項】

・会期中、作家が美術館に滞在していない期間もあります。作家の滞在日は当館ホームページにてご確認ください。  
・諸般の事情により予定に変更が生じる場合があります。